

永代祠堂志納者
御芳名

春季彼岸会 2018

永代祠堂法要

えいたい

じゅう

期日 3月20日(火)、21日(水)

時間 13時30分～16時00分

法話 亀井 鑛 師

〈20日ご法話〉

東野文恵 師

〈21日ご法話〉

昭和4年、名古屋生まれ。(株)千代田の会長取締役。民光院同朋会で聞法し、名古屋別院刊『名古屋御坊』編集を経て、東本願寺『同朋新聞』編集委員、NHK教育テレビ「こころの時代」司会に参画。著書多数。

昭和30年、滋賀県長浜市石田町生まれ。大谷大学を卒業と同時に徳明寺住職に。真宗大谷派宗議会議員。本多弘之師聞法学習会「歎異の会」主宰。笹尾本龍寺前々坊守の郷里＝岐阜県関ヶ原・宗徳寺の親戚寺院。



- ◆ 本状（左上に宛名シール貼付のもの〈和泉町在住の方用〉と、ダイレクトメールでお届けしたもの〈和泉町外の方用〉）は過去に永代祠堂懇志をご志納され、お身内の法名が本龍寺に代々伝わる永代法名軸（上記写真）に記載されているご家庭にお届けしております。
- ◆ 三回忌を過ぎたら、お亡くなりになったご家族を、ご先祖の待つ拙寺の永代法名軸の仲間に入れてあげて下さい。3月18日(日)までなら今法要に間に合います。詳しくはお寺まで。
- ◆ ご来寺されましたら、まずお庫裡玄関にて受付をお通り下さい。
- ◆ お齋（お料理）をご用意します。お寺でお召し上がりになっても、お持ち帰りもできます。

永代祠堂とは？

祠堂というのはお堂を祠まつるといふことで、お寺を念仏道場たらしめることをいいます。祠堂をあげるとは故人を念仏の法座に届けることを意味します。具体的には拙寺に代々伝わる永代法名軸に法名等を記載し、春秋のお彼岸に末永く法要を勤めて、ご遺族には生きる勇気の出るご法話に触れて頂きます。亡き人も、娑婆でがんばっている我々も、ともに救われていくために勤める法要が永代祠堂法要なのです。



真宗大谷派 本龍寺

安城市和泉町中本郷41 TEL.0566-92-0505

和泉の本龍寺

検索

- ◆ 現在は本堂建設中ですが、改修して綺麗になった同朋会館どうぼうで、例年通りの彼岸会ひがんえを執り行います
- ◆ 法要前には境内テントでお抹茶接待があります ◆ お齋はお弁当形式で、お持ち帰りもできます

